

○ 美幌小学校

- ・ 第1回学校評価について
- ・ 第2回学校評価について
- ・ 学校関係者評価について

令和2年度

学校評価結果



分散参観日



公開研究会

美幌町立美幌小学校

目次

1 第1回学校評価(令和2年7月実施)

教職員自己評価	1
保護者評価	2
児童アンケート	3
分析結果と保護者への回答	4

2 第2回学校評価(令和2年12月実施)

教職員自己評価	7
保護者評価	8
児童アンケート	9
分析結果と保護者への回答	10

3 学校関係者評価.....12

第1回 P T A 役員会 (令和2年10月1日)
第2回 P T A 役員会 (令和3年2月4日)
第1回学校運営協議会 (令和3年3月10日)

令和2年度学校評価①「教職員アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	子どもたちに学力は定着していますか。	0	11	7	0	2.61	6	↑ 0.17
②	子どもたちは、発言している人の方を見て、最後までしっかり話をきいていますか。	0	6	13	0	2.32	5	↑ 0.07
③	子どもたちは、家庭学習をする習慣が身に付いていますか。	2	4	11	0	2.47	6	↓ 0.21
④	子どもたちは、運動する習慣が身に付いていますか。	5	7	5	1	2.89	6	—
⑤	子どもたちは、自分のよさを生かしたり、子どもたち同士でよりよい関係をつくったりしていますか。	3	10	9	0	2.73	1	↓ 0.17
⑥	子どもたちは、先生方や子どもたち同士、地域の方々に明るく、気持ちのよいあいさつをしていますか。	0	11	13	1	2.40	0	↓ 0.06
⑦	子どもたちは、「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」を守っていますか。	3	10	7	3	2.57	0	↓ 0.21
⑧	算数科を中心に課題の提示や板書・ノート指導の工夫を行い、子どもが「わかる・できる」を実感できる授業を行いましたか。	2	13	1	1	2.94	7	—
⑨	いじめの未然防止や早期解決等、子ども一人一人を大切にした温かな指導(集団づくり)を行いましたか。	6	16	1	0	3.22	1	↑ 0.18
⑩	職員との協働、関係機関との連携を行いながら業務を推進しましたか。	7	17	1	0	3.24	0	↓ 0.15
回収率 86.7%						2.74		↓ 0.19
平均値が高い傾向								
平均値が低い傾向								

令和2年度学校評価①「保護者アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	お子さんは、学力が身に付いていますか。	57	115	38	6	3.03	6	↑ 0.04
②	お子さんは、話を最後までしっかりと聞いていますか。	35	113	59	12	2.78	3	↓ 0.01
③	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	40	70	67	41	2.50	4	↓ 0.58
④	お子さんは、たくさん運動をしていますか。	90	68	47	13	3.08	4	-
⑤	お子さんは、自分のよさや友だちのよさに気付いたり、話したりしていますか。	63	105	41	7	3.04	6	↑ 0.07
⑥	お子さんは、あいさつをしていますか。	63	113	38	5	3.07	3	↑ 0.23
⑦	お子さんは、きまりを守って生活していると思いますか。	57	129	26	8	3.07	2	↑ 0.29
⑧	美幌小学校は、お子さんが「わかる・できる」を実感できる授業を行っていると思いますか。	61	113	16	3	3.20	29	-
⑨	美幌小学校は、お子さん一人一人を大切にした教育活動を行っていると思いますか。	71	103	15	1	3.28	32	↑ 0.19
⑩	美幌小学校は、全教職員が連携した教育活動を行っていると思いますか。	65	90	11	3	3.28	53	↑ 0.02
回収数222(66.3%)						3.03		↑ 0.06
平均値が高い傾向		平均値が低い傾向						

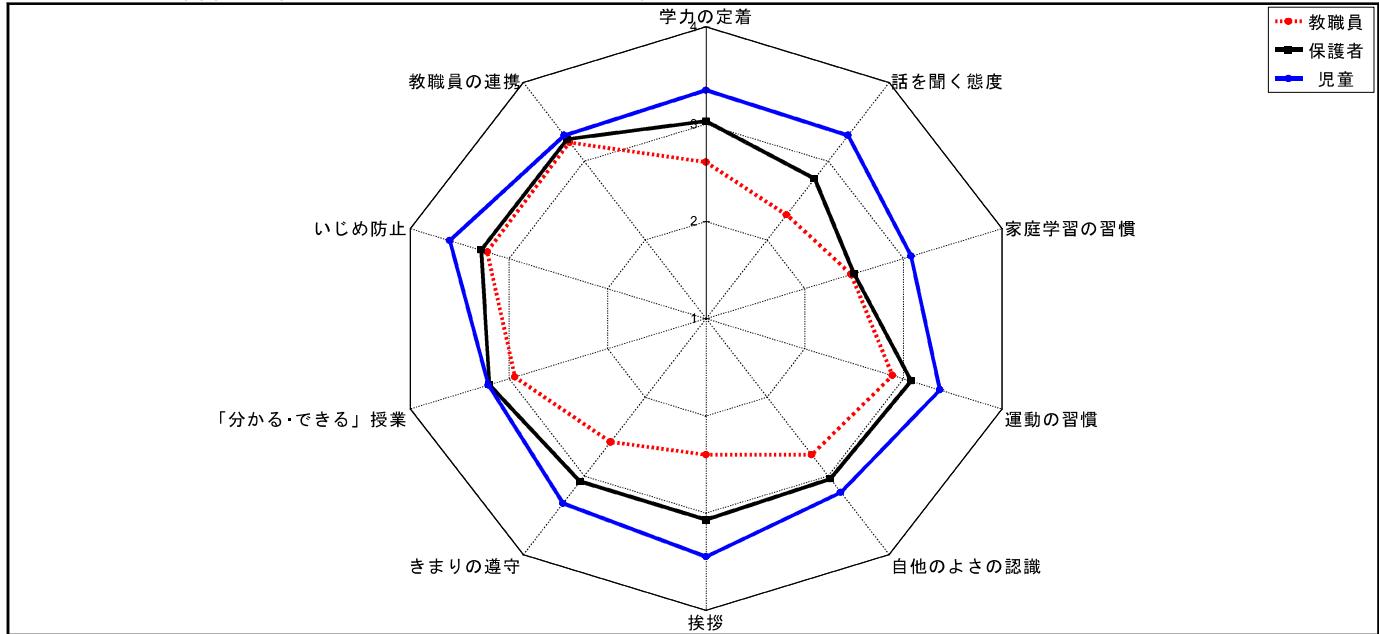
令和2年度 学校評価①「児童アンケート」集計結果

		よく	だいたい	あまり	ぜんぜん	平均	前回との比較
①	勉強したことがよくわかったり、できたりしていますか。	144	153	27	2	3.35	↑ 0.1
②	話をしている人を見て、最後までしっかり聞くことができていますか。	147	146	28	5	3.33	↑ 0.02
③	家でも勉強していますか。	146	89	61	30	3.08	↓ 0.37
④	たくさん運動していますか。	195	71	44	16	3.37	-
⑤	自分のいいところやお友だちのいいところを見つけていますか。	145	118	49	14	3.21	↑ 0.09
⑥	先生やお友だち、地域の人に明るいあいさつがでていますか。	192	96	31	7	3.45	↓ 0.07
⑦	「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」が守られていますか。	150	146	25	5	3.35	↑ 0.04
⑧	算数の授業で、自分の考えをノートに書いていますか。	165	91	45	25	3.21	-
⑨	人が嫌がるようなことをしないで、まわりと仲よくしていますか。	222	84	15	5	3.60	↑ 0.28
⑩	いろいろな先生と、お話をしたりお勉強をしたりしていますか。	163	113	43	7	3.33	↑ 0.01
回収率 97.3%						3.33	↑ 0.03
平均値が高い傾向		平均値が低い傾向					

令和2年度 第1回学校評価の結果

7月に実施した学校評価の結果をお知らせいたします。保護者の皆様のご協力に改めてお礼申し上げます。保護者アンケートの回収率は前回(令和元年12月)より4.2%上昇して66.4%でした。

☆評価基準 4十分できている 3概ねできている 2やや不十分 1不十分



次回の学校評価は12月に実施する予定です。ご協力をお願いいたします。

1 学力の定着 「お子さんは、学力が身に付いていますか。」

昨年度から校内研究(教員研修)で取り組んでいる算数科の授業改善の効果が現れ始めたこともあり、前回よりもポイントが上昇しています。過去数年間、全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査の各学年の平均値に大きな変動はありませんが、全国の下位層に属する児童の割合が増加傾向にあります。「将来の夢や希望に向かって自ら学ぶ意欲」を持っている子は、苦手な学習内容も少しずつ克服して学習の成果を出していますが、上学年になっても「学ぶ意味」を自覚できない子は、非常に心配な状況にあります。将来、子どもが自立し社会を生き抜いていくかは、ご家族はもちろん社会全体の問題ですので、今後はより一層、家庭・地域と連携した教育活動—「社会に開かれた教育課程」の充実を目指していきます。

2 話を聞く態度 「お子さんは、話を最後までしっかり聞いていますか。」

保護者の皆様と同様、教職員も依然として本校児童の大きな課題と捉えています。全体指導においては、視覚に訴えたり言葉を精選したりするなどの工夫を行っていますが、「姿勢保持が難しい」「興味のあることだけに集中する」「全体への話を聞こうとせず後から個別に質問する癖がついている」等、個別の支援を要する子が非常に多く、本人の自覚も十分でない状況が見られます。

3 家庭学習の習慣 「お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。」

前回評価に比べて、保護者の皆様のポイントが大きく下降した項目です。長く続いた休校期間に改めてお子さんの実態を把握されたことと推察いたします。今後も学校は宿題の提供や自学課題の提示、提出後のフォロー等のさらなる充実を図っていきます。「宿題の量をもっと増やして欲しい」というご意見もいただいているのですが、「宿題は全員共通で取り組める最低限の内容」であるため、学力向上には一人一人の実態に応じた自学が重要であること、「宿題の効果を高めるためには、保護者の関与が必要である」ことが国の調査研究でも明らかになっていることについて、改めてご理解をお願いいたします。

4 運動の習慣「お子さんは、たくさん運動をしていますか。」

コロナ休校中は思うように体を動かすことができずストレスをためていた子もいたようですが、美幌町は少年団活動が非常に活発ということもあり、今回のアンケートや例年1学期に実施していた「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、概ね満足できる状況にあります。

5 自他のよさの認識「お子さんは、自分のよさや友だちのよさに気付いたり、話したりしていますか。」

各学級の実態に応じた形で、自分や友達のよいところやがんばりを見付ける活動を行っていますが、依然として「自分には、よいところがあると思う」と感じていなかったり、後ろ向きな発言が習慣化されたりする児童が多い実態が見られます。「自分のよいところを先生にもっと見つけて認めて欲しい」という子どもの声に、これまで以上に応えていくようにいたします。

6 挨拶「お子さんは、あいさつをしていますか。」

教職員の組織的な取組によって校内での様子は全体的によくなり、「自分から誰にでも挨拶をする子」「相手にされたら挨拶をする子」がいる中で、「先生や知っている保護者に会っても全く挨拶をしない子」「友だちと一緒にいると気が大きくなつてよくない態度をとる子」も少なからずいます。学校でのさらなる指導を期待する声もいただいておりますが、ご家庭でのお子さんへの挨拶に関するご指導はもちろん、地域・学校等の場面において大人同士が挨拶をする姿を見せるこども大切と考えますので、ご協力をお願いいたします。

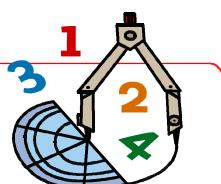
7 きまりの遵守「お子さんは、きまりを守って生活していると思いますか。」

学力や挨拶と同様、「できている子とできていない子の差が非常に大きい」項目です。「自分だけが悪いわけではない」「悪気はなかった」「謝ったから問題ない」「自分の言い分が聞き入れてもらえない」等といった主張を強く繰り返す様子も見られ、周囲の大人の毅然とした態度が改めて求められていると考えます。その他交通安全等も含めて、学校でも自他の体や心を傷つけかねない行為については、厳しく指導することがありますので何卒ご理解をお願いいたします。

また、「大人がいない家で子どもだけで遊んでいる」という情報提供が時々学校へ寄せられます。いろいろな危険が予想されますのでご家庭での把握をお願いいたします。

8 分かる・できる授業「美幌小学校は、『わかる・できる』を実感できる授業を行っていると思いますか。」

本校では、以下の2点を今年度の重点として、2020年度から全面実施となっている学習指導要領に即した授業づくり、とりわけ算数科に力を入れて校内研究（教員研修）に取り組んでいます。



今年度の校内研究（教員研修）の重点

- (1) 授業の流れや思考の過程がわかるような効果的な板書の工夫
- (2) 自分の考えをノートに図や絵等を使い書くことを取り入れた学習の工夫

9 いじめ防止「美幌小学校は、お子さん一人一人を大切にした教育活動を行っていると思いますか。」

学力向上と同様、教職員が最も意識して力を入れて取り組んでいきた項目です。7月実施の「いじめアンケート」では、15%の子が周囲との関わりの中でいやな思いをしたと回答しています。学校の取組に対して保護者の皆様からは一定の評価をいただいていますが、まだまだ不十分な面があると思いますので、気になること等ありましたら、そのままにはせずに、まずは各担任・学校へご連絡ください。

10 教職員の連携 「美幌小学校は、全教職員が連携した教育活動を行っていると思いますか。」

本校は3月に9名の教職員が転出し、4月から新たに17名の教職員が着任しています。様々な立場やキャリアの教職員46名が集まっていますが、学校の3つの重点目標「わかる・できるが実感できる授業」「一人一人が大切にされるあたたかい学級・学年経営、信頼される学校」「共感・協働・連携する学校」を目指して、全教職員が連携した教育活動に全力で取り組んでいます。

今回から「記名式」でアンケートへご回答いただきました

「記名式だと正直なことが書きづらい」旨のご意見もいただきましたが、全体の回収率が上昇し、各項目の評価を細かく付けていただけと感じております。また、お子さん一人一人の家庭での頑張りや心配事、担任・学校への要望や期待を具体的に把握することができました。書字や応用問題等の学習面、人間関係づくりやコロナ対応下の集団活動といった生活面について、各担任の指導充実に早速生かしています。

その他、学校全体に関わるご意見への回答は以下のとおりとなります。ご不明な点等ありましたら、教頭までお問合わせください。

いただいたご意見の概要	学校の回答
動画配信も含めて、実際に授業を見る機会を設定して欲しい。	現状としては、11月に参観日を予定しています。
学校と家庭との連携強化のために、情報提供が重要では。	教育活動の意図や取組、その成果や課題に関する情報発信にさらに努めています。 なお、SNS等の広がりを受けて、お子さんや教職員に関する具体的な情報・画像等を学校が発信することについては、今後ますます慎重にならざるを得ないについてご理解願います。
暑い日が多かったが、牛乳等の給食の提供が少し心配だった（味に違和感があった）。	気温が高かった期間は、給食センターからの配送時間を繰り下げる、できるだけ給食時間の間近まで食べ物や牛乳を保温庫・冷蔵庫に入れるようにしていました。
校庭の鉄棒の固定部分に危ない箇所がある。	教育委員会と相談して対応します。
暑さ対策として濡らしたら冷えるタオルの使用を許可して欲しい。	タオルに関して学校で定めたルールはありません。遊ぶ時に首が引っかかるないようにする等、ご家庭で安全面の声かけを十分に行った上で使用してください。
いろいろな行事が中止になったので、みんなで協力したり思い出を作ったりする活動を行って欲しい。	教育活動で優先すべき第一は感染症予防等の健康安全、第二は各学年で定められた学習内容の定着とした上で、よりよい集団づくりに向けた活動があるかどうか各学級・学年で慎重に検討し、可能なものは実施しています。
社会・理科の教科書・ノートも置き勉したい。	次年度に向けて検討いたします。
放課後、校舎玄関前等でゲーム機で遊んでいる子がいるが、いいのだろうか。	ゲーム機遊び以外にも寝そべってくつろぐ等の好ましくない行動が見られたので、止めるように指導しました。

令和2年度学校評価②「教職員アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	子どもたちに学力は定着していますか。	0	15	6	0	2.71	6	↑ 0.10
②	子どもたちは、発言している人の方を見て、最後までしっかり話をきいていますか。	0	5	17	2	2.13	3	↓ 0.19
③	子どもたちは、家庭学習をする習慣が身に付いていますか。	2	5	10	4	2.24	6	↓ 0.23
④	子どもたちは、運動する習慣が身に付いていますか。	3	11	6	0	2.85	7	↓ 0.04
⑤	子どもたちは、自分のよさを生かしたり、子どもたち同士でよりよい関係をつくったりしていますか。	4	17	4	0	3.00	2	↑ 0.27
⑥	子どもたちは、先生方や子どもたち同士、地域の方々に明るく、気持ちのよいあいさつをしていますか。	2	11	10	2	2.52	2	↑ 0.12
⑦	子どもたちは、「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」を守っていますか。	1	16	7	0	2.75	3	↑ 0.18
⑧	算数科を中心に課題の提示や板書・ノート指導の工夫を行い、子どもが「わかる・できる」を実感できる授業を行いましたか。	4	10	4	0	3.00	9	↑ 0.06
⑨	いじめの未然防止や早期解決等、子ども一人一人を大切にした温かな指導(集団づくり)を行いましたか。	7	17	1	0	3.24	2	↑ 0.02
⑩	職員との協働、関係機関との連携を行いながら業務を推進しましたか。	10	16	1	0	3.33	0	↑ 0.06
回収率 90.0%						2.78		↑ 0.04
平均値が高い傾向								
平均値が低い傾向								

令和2年度学校評価②「保護者アンケート」集計結果

	設問	A	B	C	D	平均	?	前回との比較
①	お子さんは、学力が身に付いていますか。	54	126	48	7	2.97	5	↓ 0.06
②	お子さんは、話を最後までしっかり聞いていますか。	37	107	82	14	2.70	0	↓ 0.08
③	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	38	87	64	49	2.48	2	↓ 0.02
④	お子さんは、たくさん運動をしていますか。	66	80	69	24	2.79	1	↓ 0.29
⑤	お子さんは、自分のよさや友だちのよさに気付いたり、話したりしていますか。	70	108	53	4	3.04	5	-
⑥	お子さんは、あいさつをしていますか。	75	122	38	2	3.14	3	↑ 0.07
⑦	お子さんは、きまりを守って生活していると思いますか。	61	128	41	7	3.03	3	↓ 0.04
⑧	美幌小学校は、お子さんが「わかる・できる」を実感できる授業を行っていると思いますか。	46	147	18	2	3.11	27	↓ 0.09
⑨	美幌小学校は、お子さん一人一人を大切にした教育活動を行っていると思いますか。	64	127	17	7	3.15	25	↓ 0.13
⑩	美幌小学校は、全教職員が連携した教育活動を行っていると思いますか。	57	117	19	9	3.10	38	↓ 0.18
回収数240(71.4%)						2.95		↓ 0.08
平均値が高い傾向			平均値が低い傾向					

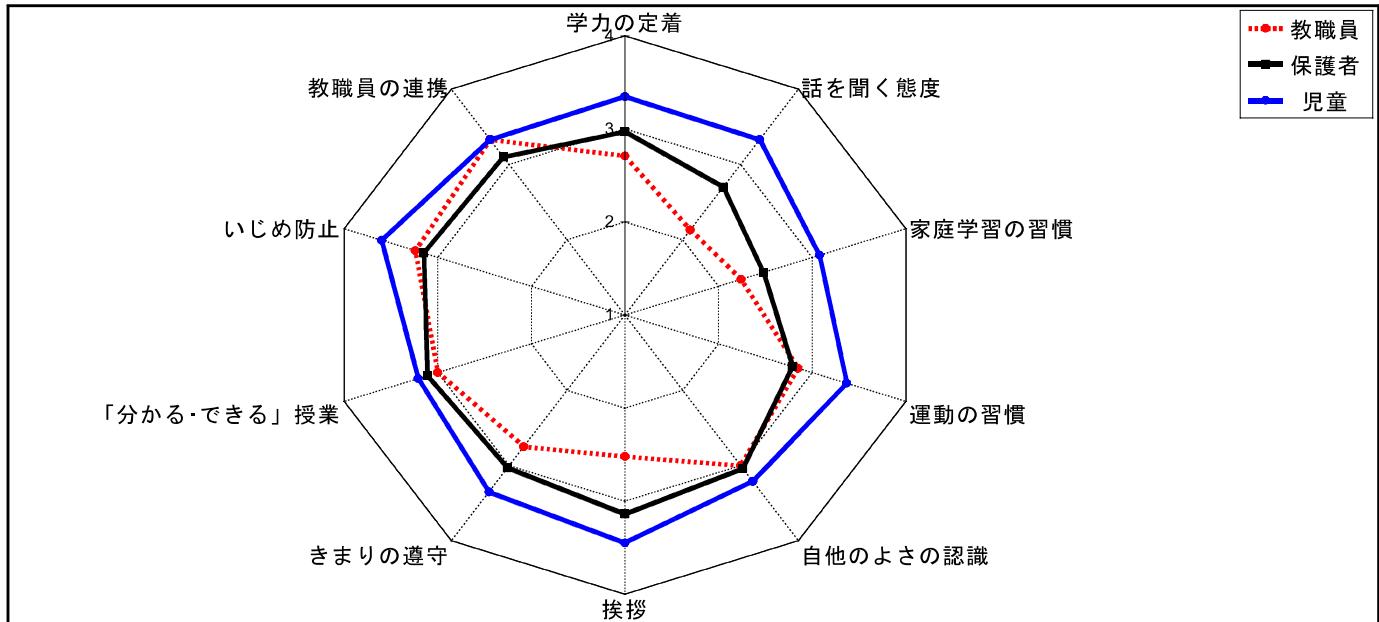
令和2年度 学校評価②「児童アンケート」集計結果

		よく	だいたい	あまり	ぜんぜん	平均	前回との比較
①	勉強したことがよくわかったり、できたりしていますか。	164	144	16	5	3.42	↑ 0.07
②	話をしている人を見て、最後までしっかり聞くことができていますか。	138	154	26	6	3.31	↑ 0.02
③	家でも勉強していますか。	160	87	56	26	3.16	↓ 0.09
④	たくさん運動していますか。	186	82	40	21	3.32	↑ 0.05
⑤	自分のいいところやお友だちのいいところを見つけていますか。	139	134	38	18	3.20	↑ 0.01
⑥	先生やお友だち、地域の人に明るいあいさつがでていますか。	205	91	29	4	3.51	↓ 0.06
⑦	「かしわっ子 学習のきまり」「かしわっ子 生活のやくそく」「校外生活のきまり」が守られていますか。	133	166	26	4	3.30	↑ 0.05
⑧	算数の授業で、自分の考えをノートに書いていますか。	144	114	48	23	3.15	↑ 0.02
⑨	人が嫌がるようなことをしないで、まわりと仲よくしていますか。	198	121	8	2	3.57	↑ 0.03
⑩	いろいろな先生と、お話をしたりお勉強をしたりしていますか。	165	114	42	8	3.33	-
回収率 97.9%						3.33	-
平均値が高い傾向		平均値が低い傾向					

令和2年度 第2回学校評価の結果

昨年12月に実施した学校評価の結果をお知らせいたします。保護者の皆様のご協力に改めてお礼申し上げます。保護者アンケートの回収率は前回(令和2年7月)より5.0%上昇して71.4%でした。

☆評価基準 4十分できている 3概ねできている 2やや不十分 1不十分



1 学力の定着

全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等、客観的な調査の全体的な傾向からは、学力の向上が着実に進んでいます。今後は、授業改善をさらに進めていくとともに、「学力とは何か」「美幌小学校の子供たちに育成する資質・能力は何か」について、学校からの説明と発信を十分に行っていくようにします。

2 話を聞く態度

依然として本校児童の大きな課題となっています。今後も全体指導において、視覚に訴えたり言葉を精選したりしながら、できる限り一人一人の実態に応じた支援を工夫していきます。

3 家庭学習の習慣

保護者の皆様のご協力により、宿題にしっかり取り組む子が全体的に増えています。自学については、担任からの励ましがとても効果的だったとのご意見を多数いただいているので、今後もしっかり取り組んでいきます。

4 運動の習慣

前回と比べて保護者の皆様のポイントが最も下がった項目となります。「三密を避けた上で運動機会の充実」について、他校の取組等も参考にしながら、教育活動を工夫していきます。

5 自他のよさの認識

依然として「自分には、よいところがあると思う」と感じていなかったり、後ろ向きな発言が習慣化されていたりする児童が一定数見られますが、教職員のポイントが最も上がった項目となります。「自分のよいところを先生や友だちにもっと見つけて認めて欲しい」という子どもの声に、今後さらに応えていくようになります。

6 挨拶

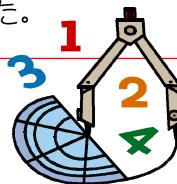
保護者・教職員ともに前回と比べてポイントが大きく上がった項目となります。児童会三役の挨拶運動等、子供同士で意識を高め合う活動の成果も表れていますので、全教職員による粘り強い声かけを今後も続けていきます。

7 きまりの遵守

教職員のポイントが大きく上がった項目となります。自分たちの学校生活をよりよくするためのルールをみんなで考えたり、声をかけ合ったりする活動の成果が表れてきています。

8 分かる・できる授業

本校では、以下の2点を今年度の重点として、2020年度から全面実施となっている学習指導要領に即した授業づくり、とりわけ算数科に力を入れて校内研究（教員研修）に取り組んできました。



今年度の校内研究（教員研修）の重点

- (1) 授業の流れや思考の過程がわかるような効果的な板書の工夫
- (2) 自分の考えをノートに図や絵等を使い書くことを取り入れた学習の工夫

教職員・児童のポイントが上昇し、全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等、客観的な調査の全体的な傾向からも、学力の向上が着実に進んでいると捉えています。一方で、11%の保護者の皆様から、本項目について「分からない」との回答をいただいている。今後は各種お便りや授業参観等の機会も活用しながら、授業改善や教員研修の成果をお伝えしていくようにします。

9 いじめ防止

教職員のポイントが上がった一方で、保護者の皆様のポイントが最も下がった項目となります。昨年10月に実施したいじめ把握アンケートでは、周囲の影響で「いやな思いをしたことがある」と答えた子が全体の13%いました。また、今回の保護者アンケート記述欄においても、お子さんの学校生活や人間関係についてご相談をいただいた件があり、担任・学年団で直ちに対応しご報告をいたしました。いじめ防止等、安心・安全な学校づくりは、学力向上と同様に本校が最も力を入れて取り組んでいる教育活動です。ご心配やご不明なこと等ありましたら、まずは各担任・学校（学年の先生・養護教諭・主幹教諭・教頭）へご相談いただきますようよろしくお願ひいたします。

10 教職員の連携

教職員のポイントが大きく上がった一方で、保護者の皆様のポイントが下がった項目となります。また、16%の保護者の皆様から「分からない」との回答や「教職員間の温度差を感じる」とのご意見をいただきました。職員室の雰囲気のよさが目的ではなく子供たちを成長させるための手段となり、その取組の成果が保護者の皆様にもしっかりと伝わるようにしていきます。



保護者記述欄で好評価を得た取組【記述が多かった順】

- (1) 参観日の内容・発表
- (2) 家庭学習への指導や励まし
- (3) 修学旅行
- (4) 連絡帳等での細やかな連絡
- (5) 校外学習
- (6) 感染症対策
- (7) 学級通信
- (8) 英語の授業

令和2年度学校関係者評価

令和2年10月1日の第1回PTA役員会、令和3年2月4日の第2回PTA役員会、令和3年3月10日の第1回学校運営協議会において、本年度の職員・児童による内部評価及び保護者・地域による外部評価の結果について説明し、本校の教育活動全般について以下のような意見や質問を受けるとともに、学校関係者による評価をしていただいた。

- イングリッシュルームを設営・活用した外国語教育の取組が大変素晴らしい。美幌町図書館にある英国絵本等も大いに活用するといい。
- 子どもの得手不得手に合わせて学力向上をさらに進めて欲しい。その際、GIGAスクール構想の影響は大きいと思うので、先生方の研修機会が充実することを期待する。
- 教育が最終的に目指すことは「子供の自立」であり、それは家庭教育が第一である。しかし、各家庭の価値観が多様で体験不足な子が多いと思うので、学校教育ができる限り補って欲しい。
- 感染症予防が困難な中、参観日等で保護者と連携する機会をしっかりと作っていてよかったです。また、当日の授業内容や子どもの姿も大変よかったです。
- 様々な子どもたちがいる中で、先生方ががんばっていることが伝わってくる。今後も保護者と連携しながら子どもたちのためにがんばってもらいたい。
- 担任・学校へ極端な要望や苦情を繰り返し訴える保護者が増えていることを承知している。PTA役員・学校運営協議会委員として教員・子どものために力になりたいと思っているので、困ったことがあるときは遠慮せず知らせて欲しい。
- スマホのアプリを活用した学校行事の写真注文・販売が好評のようである。苦手な方も一定数いるかもしれないが、時代に合わせて学校の教育活動もデジタル化を積極的に進めて欲しい。
- マチコミメールを活用した緊急連絡は非常に便利であり定着もしてきているのでよい。電話連絡を無くしたことも個人情報保護の観点からもよかったです。今後は、子供同士のトラブル後の謝罪・相談等、保護者同士で直接連絡を取り合いたいときの対応についてルールやツールがあるといいのではないか。
- 三密を避けるために、保護者の来校機会や人数を制限することはやむを得ないと思う。しかしながら、子どもの頑張り・成長や先生方の努力は、可能な限り見たり感じたりしたいので、動画配信等の工夫について現実的に検討して欲しい。
- コロナ対応のため、例年に比べて保護者と先生方が直接話をする機会が少ない1年だった。次年度以降も状況が変わらないようであれば、PTA広報誌や学校便り等で先生方の人となりを伝えるような工夫があつてもいいように感じる。
- 幼保小連携やPTA活動等、コロナ禍2年目の4月からは「できない」から「どうすればできるか」を真剣に考えていく1年になるのではないか。
- 社会とつながるボランティア活動等も普段の授業や児童会活動に積極に取り入れて欲しい。